

奄美大島の豊かな森

奄美大島の亜熱帯性常緑広葉樹林は、動植物の豊かな多様性を支えています。奄美大島の希少な固有種の多くはこの森をすみかとしており、その中にはアマミノクロウサギ、絶滅が危惧される腹部が黄色のシリケンイモリ、リュウキュウコノハズク、ルリカケス、リュウキュウハナサキガエル、アマミシカワガエルなどがいます。

湯湾岳の雲霧林

奄美大島の最高峰は標高 700 メートル弱で、頂上まではのんびり歩いて 20 分ほどです。登山道は、亜熱帯の風景に囲まれており、周囲は近距離にある海と高い気温によって生じる薄い霧に覆われています。年間を通して湿度が高いため、キツネの尾に似た花を咲かせるクモキリソウ（*Liparis kumokiri*）などの樹木にくっついて育つ着生ランが多種見られます。山で見られる他の植物には、絶滅が危惧されているミヤビカンアオイ（*Asarum celsum*）やヤクシマスミレ（*Heterotropa celsa*）などがあります。

湯湾岳登山道の入り口は、マングローブパークから車で約 45 分です。

川治いの森

奄美大島の山あいの谷間を流れる川は、多数の希少な動植物が生息する独自の生態系をつくりあげています。川によって浸食された岸と岩石にはアマミスミレやアマミセイシカなどの固有植物があちこちに生育しています。季節ごとに異なる降雨パターンに応じて、川の水位も大きく変わります。

住用川のそばにあるマテリアの滝の周辺区域は、島の豊かな水辺の環境の好例です。滝壺の澄んだ水は豊かな緑に囲まれています。滝まではマングローブパークから車で 90 分です。

役勝川は、マングローブパークから車でほんの 10 分のところにあります。森を歩いて川治いを 1.5 キロメートルほど歩くことができます。森にはアマミノクロウサギ、リュウキュウイノシシ、アマミトゲネズミ、5 種のカエル、7 種のトンボが生息しており、多数の希少植物も生育しています。

山のドライブ

マングローブパークから車でわずか 15 分のところにあり、島の鳥瞰像が見られる赤土山展望台からは、亜熱帯性原生林の広い斜面が眺められます。赤土山展望台から車でもう 30 分行くと広い海に広がる長い入江の見事な景色を望む湯湾岳展望公園があります。